

です。

これには、スローガン型（ファイト一発！6年2組）やイメージ型（笑顔あふれる太陽学級）や語呂合わせ型（たのしく、ぬくもりと、きびしさのある学級）などがあります。この型は、その学級独特の表現を持つ目標になっています。このように個性的なものが、子どもたちの「自分たちの学級目標」という思いを強くできるのでいいと思っています。

ちなみに、昔、私があった6年の学級目標は「すまいる」でした。

すてきな笑顔、まんまるな心、一生懸命な態度、ルールを守る姿勢をめざして夢いっぱい学級を創ろうという子どもたちの願いが込められています。

また、「さわのび」という学級目標をつくったこともあります。「さわやかでのびのびした学級」を短く表現したものです。ほかにも「いつも元気だポンポコ学級」「めざせ！日本一のカレーライス」「カンガルーパワー」「ゆっくり歩こうありんこ学級」「く～ちゃんパワー」「たこ焼き学級」「幸せの木」「元気いっぱいぺんちゃん学級」「みんなでかこう頭の汗、体の汗、心の汗」「ぼくらはすてきな宝石箱」「笑顔がいっぱい たいちゃん学級」などもあります。

子どもたちにとって魅力あふれる学級目標とは、次の5つの条件を含むものと考えています。

- ・夢のある言葉が使われている
- ・子どもの思いや願いが取り入れられている
- ・学級の独自性がある（個性的である）
- ・学級のめざす方向性が見える
- ・学級の諸活動に生かすことができる

2 第11回希望の会in山口、山口学級活動ネットワーク冬の学習会報告 その6

冬の学習会、午後の部では、「希望の会」が大事にしてきた「参加者が語り合う」というやり方でワークショップを行いました。

ここでは参加者に12のグループに分かれてもらって、それぞれに課題を与え、話し合ってもらいました。

話し合ったことをまとめたものは、山口学級活動ネットワークのホームページもしくは、希望の会のホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。ここでは、4回に分けて、12の課題と話合いの結果から見えてきたことを紹介しておきます。

実践上の課題（４）

「人間関係を形成する力を養う活動」が重視されるようになりました。それは、どのような活動なのでしょう。また、その活動を充実させるには、どのように指導すればよいのでしょうか。

この話合いでは、特別活動における様々な活動の中で、どういう場を通して「人間関係形成力」を育てていくことができるかということで意見交換がなされました。そして、「協力し合ってやり遂げる活動」を仕組むことや、「異年齢による交流活動」が重要であること、「アイデアを出し合ってそれをお互いに認めていく」ことが大事であることが見えてきたようです。

実践上の課題（５）

学級活動の内容として２学年ごとに分けた学級活動の内容が示されました。その中で、低学年では「仲良く助け合い学級を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成…」と示されています。そのような態度を育成するにはどのような活動を考えたらよいのでしょうか。

低学年の学級活動では、「仲良く助け合い（人間関係）」「学級を楽しくし（生活づくり）」「進んで取り組もう（社会参画・自治的能力）」とする態度が求められています。

この内容では、「意見をつないでいくこと」「自分たちで企画することを経験させること」「かかわりをもたせること」をステップを設けて取り組ませる活動が大切ではないかということが見えてきたようです。

実践上の課題（６）

中学年では、「協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成…」と示されました。そのような態度を育成するにはどのような活動を考えたらよいのでしょうか。

中学年の学級活動では、「協力し合って（人間関係）」「楽しい学級生活をつくり（生活づくり）」「意欲的に取り組もう（社会参画・自治的能力）」とする態度が求められています。

この内容では、多様な集団活動を通して「協力した結果の成功体験・感動体験」を積み上げさせ、そのことによって学級の諸問題に気付かせ、解決していく経験をさせる活動が大切ではないかということが見えてきたようです。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第77号は5月中旬ごろ発行予定です。

次号も、第一特集は「元気が出る学級づくり」について、第二特集では「冬の学習会」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は243名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

=====